
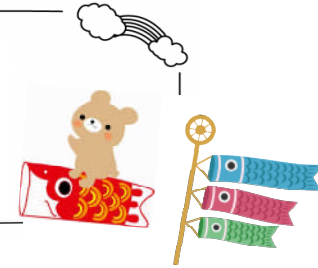


栄養士より

令和4年5月 済生会なでしこ園 

心地よい春風の中で、入園した子ども達も少しずつ園生活に慣れてきました。季節の変わり目となりますので、体調管理に充分注意しながら元気にすごしていきましょう。鼻風邪や咳などが流行る時期ともなりますので、引き続き手洗いうがいをしっかりと行いましょう。子どもの日の行事食は5月9日に こいのぼりぼうろを提供予定です。



偏食改善の支援(偏食の原因)

なぜ「特定のものしか食べられない」状態になってしまうのでしょうか。次の原因が考えられます。

○口腔機能：上手に食べることが難しい

食べ物を噛んだり飲み込んだりする口腔機能に課題があると、偏食の原因になることがあります。

噛む力が弱ければ硬いものや繊維質のものを食べることが難しくなります。飲み込むことに課題がある場合、拒食や誤嚥の恐れがあります。

そうなると子どもが食べたいと思っても食べられないこともあります。

また上手に食べられない経験を重ねてしまうことで食事が「嫌な体験」となり、ますます偏食が強くなる場合もあります。

○感覚：感覚の過敏・鈍麻

特定の感覚に対する強いこだわりがあり、濡れたものを口にするのを嫌がったり、カリカリした食感のものしか口にしないなど、人によってさまざまな特徴を示すことがあります。

参考文献 「発達障害児の偏食改善マニュアル」 監修 山根希世子 編著 藤井葉子 中央法規

⚠️ お知らせ～歯ブラシ・コップの耐熱に関して～⚠️

歯ブラシ・コップは給食後、殺菌庫で殺菌しておりますが、まれに殺菌温度(100℃)に耐えられず変形してしまうことがあります。これまでの傾向から透明の歯ブラシや厚さが薄いコップは曲がってしまう可能性が高いです。殺菌前に確認はしておりますが、予測できず変形させてしまうことがありますのでご了承ください。